

静内種馬場輸出検疫施設

Export Quarantine Facility



検疫厩舎

静内種馬場輸出検疫施設について

(社)日本軽種馬協会によるアジアの主要競馬開催国を対象とした「軽種馬海外流通促進事業」の展開や近年の海外における日本産馬・日本調教馬の活躍により、海外競馬関係者の日本産馬に対する関心が高まってきています。

また、当協会の海外プロモーション活動と軽種馬生産地における海外輸出の取り組みにより、2004年～2006年の日本産馬の輸出頭数は140頭に上っています。

こうした内外の動きに対処し日本産馬の輸出環境を整えるため、輸出検疫施設を設置しました（平成17年度九州種馬場、平成18年度静内種馬場）。

この施設は、日本最大の生産地である北海道からマレーシア・シンガポール、香港、オセアニアに向けて、千歳空港・成田空港を利用して空輸する軽種馬の輸出検疫を良好な飼養環境のもとで実施できるよう整備されています。



社団法人 日本軽種馬協会 静内種馬場

〒056-0144 北海道日高郡新ひだか町静内田原517番地
TEL 0146-46-2321 FAX 0146-46-2336

施設の概要

- ① 検疫厩舎の収容頭数30頭
- ② 管理人詰所・出張厩務員用宿舎
- ③ 飼料・敷料置場
- ④ 給排水設備
- ⑤ 堆肥庫
- ⑥ 更衣室、踏込消毒槽、手洗消毒器
- ⑦ 車両消毒用機材、厩舎等消毒用器具
- ⑧ 検疫所内馬飼養管理備品
- ⑨ ウォーキングマシン
- ⑩ サンシャインパドック

